

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農政環境部長

平成26年度兵庫県農業気象技術情報第7号(11~12月情報)について(送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
水稻	全県共通	<p>1 生育、病害虫 収穫後の圃場について</p> <p>ア 近年、縞葉枯病の発生が漸増傾向にある。ひこばえ等でも発病し、保毒虫増加の要因になるため、刈り取り後は速やかに(11月中)耕うんする。また、発生が多い地域では、冬期の畦畔雑草の管理を徹底し、ヒメトビウソカの越冬密度低減に努める。</p> <p>イ 紋枯病が多かった圃場では、耕うん回数を多くして越冬菌核を少なくする。</p> <p>ウ 表面排水に努め乾田化を図り、できるだけ早く稲わら及びたい肥をすき込む。その際は、圃場条件や水稻の生育状況等を考慮し、ケイ酸質肥料等の土づくり資材を施用する。</p>	 <p>写真「ひこばえ」の縞葉枯病感染株</p>
麦	全県共通	<p>1 生育 気温については、平年並みもしくは高いと予想される。 降水量はやや多いと見込まれる。 麦は出芽時の圃場管理が増収の決め手となるため、排水対策を徹底すること。</p>	<p>1 生育 土壌診断に基づいて、pH6.0~7.0を目標に苦土石灰等の石灰質肥料を施用して土壌酸度を矯正する。 早めに周辺溝や排水溝を設置し、必ず排水口に連結する。さらに、弾丸暗きよ等を設置し、排水対策を徹底する。 適期播種に努める。播種時期が遅れた場合は、播種量を増やす。(11月下旬では2割増とする。) 年内の生育が旺盛な場合は、5葉期以降に麦踏みを行う。ただし、麦踏みは圃場が乾いた状態で実施し、その後、排水溝の手直しを行う。</p>
普通大豆	全県共通	<p>1 生育 成熟期はやや早まる見込み。</p>	<p>1 生育 収穫時期は、莢を振って音がする頃を目安とする。 コンバイン収穫の際は、青立ち株及び雑草を除去し汚粒防止のため、茎の水分に留意して刈り取り時期を決め、適期収穫に努める。</p> <p><コンバイン収穫の刈り取り適期の目安> 茎水分50%以下になった時で、茎がやや黒みを帯びて、手でポキッと二つに折れる状態であること。</p> <p>しわ粒をださないように急速な乾燥は避ける。</p>
黒大豆	全県共通	<p>1 生育 成熟期はやや早まる見込み。</p>	<p>1 生育 計画的に各作業(葉とり、刈り取り、脱粒等)を行う。 裂皮、しわ粒をださないように急速な乾燥は避ける。</p>

キャベツ	全県共通	<p>1 生育 全体的に生育は順調である。</p> <p>2 病害虫 菌核病の発生はやや多いと予想される。</p>	<p>1 生育 追肥、中耕、防除といった必要な作業は、遅れないように実施する。乾燥が続く場合、早めに畝間灌水等を行う。</p> <p>2 病害虫 計画的に指導指針に基づいて防除する。</p>
果樹	全県共通	<p>1 生育 凍寒害の発生防止に努める。</p> <p>2 病害虫 越冬病害虫の密度を下げる。</p>	<p>1 生育 凍寒害や雪害の危険性のある園地では被害防止対策を行う。 ・イチジク：わら、アルミ蒸着フィルム等の被覆（本格的な被覆が間に合わない場合には、主枝上面にわらの束を載せるだけでも凍害防止効果あり） ・クリ：幼木への株ゆるめ処理等 ・ナシ：早めの剪定（荒剪定）、果樹棚の点検、補強 ・カンキツ：不織布やコモの被覆</p> <p>2 病害虫 病害虫による被害果、剪定枝及び落葉の焼却や園外への持ち出し等を行う。必要に応じて薬剤散布を行う。 カンキツは収穫前に貯蔵病害対策を実施する。</p>

◎ 稲・麦・大豆の栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を参考にすること。

◎ 防除については「病害虫発生予察情報」及び「兵庫県農業情報システム」を参考にすること。

※ 本情報は、10月29日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報（10月25日～11月24日）

[平成26年10月23日 大阪管区气象台発表]

【概要】

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があり、注意を要する。

天気は数日の周期で変わる見込み。近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。平均気温は、高い確率60%。日照時間は、近畿日本海側で平年並みまたは高い確率ともに40%。

週別の気温は、1週目は高い確率70%、2週目は高い確率50%。3～4週目は、平年並みまたは高い確率ともに40%。

【確率】

○気温、降水量及び日照時間

【近畿地方】

□低い(少ない) □平年並 □高い(多い) (単位:%)

項目	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	10	30	60
降水量	40	30	30
日照時間【日本海側】	20	40	40
日照時間【太平洋側】	30	30	40

○各週の気温経過

【近畿地方】

□低い □平年並 □高い (単位:%)

週目	低い	平年並	高い
1週目	10	20	70
2週目	20	30	50
3～4週目	20	40	40

(2) 近畿地方の向こう3か月予報（11月～1月）

[平成26年10月24日 大阪管区气象台発表]

【概要】

この期間の平均気温は、高い確率50%。降水量は、太平洋側で平年並みまたは高い確率ともに40%。

11月：日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。

12月：日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込み。太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込み。

1月：日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込み。太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込み。

【確率】

○気温

【近畿地方】

□低い □平年並 □高い (単位:%)

期間	低い	平年並	高い
3か月	20	30	50
11月	20	40	40
12月	20	40	40
1月	20	40	40

○降水量

【近畿日本海側】

□少ない □平年並 □多い (単位:%)

期間	少ない	平年並	多い
3か月	30	40	30
11月	40	30	30
12月	30	30	40
1月	30	40	30

【近畿太平洋側】

□少ない □平年並 □多い (単位:%)

期間	少ない	平年並	多い
3か月	20	40	40
11月	30	40	30
12月	20	40	40
1月	20	40	40

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1981～2010年）における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・ 「病虫害発生予察情報」
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・ 「兵庫県農薬情報システム」
<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- ・ 「ブラスタム・病虫害発生情報携帯サイト」
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/mobile>
- ・ 「近畿中国四国地域水稻生育予測サイト」
<http://tekisaku.jp/ricediag/>



ブラスタム・病虫害発生
情報携帯サイトQRコード

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
農産班:農産担当 内線 4074
農産班:野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
農業技術センター 病虫害部 TEL (0790)47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL: http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)